

「トビタテ!留学JAPAN」 令和5年度から第2ステージを開始

文部科学省総合教育政策局国際教育課

● はじめに

官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム~は、日本再興戦略 (平成25年6月 14日閣議決定) や教育振興基本計画 (平成30年6月15 日閣議決定) に掲げられた、日本人高校生の海外留学生数を6万人にするという目標の達成に向けて、グローバル人材の育成のために民間企業からの寄附金によって、官民が協力して運営してきたものです。

この度、コロナ禍で大きく落ち込んだ海外留学の機 運を再び醸成し、若者の海外留学の促進に向けて新た なビジョンを掲げ、令和5年度から令和9年度までの5年 間、官民協働オールジャパンで、トビタテ第2ステージ を実施することになりました。第2ステージにおいては、 「日本代表プログラム」の後継事業として、「新・日本 代表プログラム」を実施します。

もともと文部科学省及び独立行政法人日本学生支援機構では、意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一歩を踏み出す機運を醸成することを目的として、平成25年度から「トビタテ!留学 JAPAN」(以下、「トビタテ」)を推進し、その取り組みの一つとして令和2年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム」の派遣留学生として採用し、幅広い国・地域への留学を支援してきました。

第2ステージでは、より若い時期からの海外経験を将来の留学につなげるため、高等学校段階からの留学機 運醸成・支援をさらに強化しております。

● トビタテ第 2 ステージのビジョンと取り組む三事業の概要

トビタテ第 2 ステージのビジョンと取り組む**三事業の概要**について説明します。次の図をご覧下さい。

トビタテ第2ステージのビジョンについては、 Challenge, Connect, Co-create を掲げています。

Challenge (チャレンジ): 若者の海外への挑戦をオールジャパンで応援する。

Connect (コネクト): トビタテ生同士を繋げ、多様な若者が繋がるコミュニティを形成する。トビタテ生が海外のネットワークと繋がる。トビタテコミュニティと志を同じくするステークホルダーを繋げる。

Co-create (コークリエート): 協働して次期事業を

作り上げ、留学機運を再醸成する。協働プロジェクトを 創出し、社会に創造と変革を起こす。価値イノベーション人材のロールモデルを輩出する。

また、トビタテ第 2 ステージでは、新・日本代表プログラム、留学プラットフォーム、価値イノベーション人材ネットワークの3事業を実施します。3事業の概要は次のとおりです。

① 新・日本代表プログラム:日本の未来を創るグローバルリーダー像と留学を通じた人材育成をアップデート

トビタテ!留学JAPAN 第2ステージのビジョンと取り組む三事業の概要

留学機運の再醸成 留学者数の回復 ロールモデルの輩出 2027年度末 ・コロナ禍により激減した留学生数を、少なくとも ・新たな"グローバルリーダー"5,000名の輩出 までに達成 コロナ前の水準にいち早く回復させる ・社会に対してインパクトを生む人材2,000名の輩出 すること ・次期トビタテの成果も踏まえ、 イノベーションを生み出すトビタテ生の 2028年度以降 各自治体や各高等学校等を主体とする特色ある コミュニティを活性化し続けるエコシステム 留学支援制度の展開

もレガシーと して継続する 仕組み

成果のエビデンスと発信

2 留学プラットフォー

各事業の 概要

- ・産業界、自治体、学校等による既 存の留学支援の取り組みを可視化
- ・留学奨学金制度や留学プログラム、 留学啓発機会に全国のより多くの主 体(特に自治体、高校、大学)が積 極的に取り組む状態を目指す

1 新・日本代表プログラム 新たな"グローバルリーダー" 5,000名の輩出

- 日本の未来を創るグローバルリーダー像と 留学を通じた人材育成のアップデートする
- 大学:「自ら社会に変革を起こしていくグ ローバルリーダー」の輩出
- 高校:「社会(地域)にイノベーションを起 こすグローバル探究リーダー」の輩出 高等学校段階からグローバル人材育成に取
- り組む留学モデル拠点地域を全国に構築
- ・採用人数:大学生1,000名~ 高校生4,000名~

価値イノベーション 人材ネットワーク

- ・トビタテコミュニティの更なる活 性化と国内外の多様なステークホル ダーとの協働の促進
- 価値イノベーション人材の輩出
- ・価値イノベーション人材2,000名 ・国内外の協働組織125団体

※上記3事業を独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)において実施

ビジョン : 日本の若者が世界に挑み、"本音と本気"で国内外の人々と協働し、創造と変革を起こす社会 コンセプト: Challenge, Connect, Co-create

する。高校では「社会(地域)にイノベーションを 起こしていくグローバルリーダー」の輩出、高等学 校段階からグローバル人材育成に取り組む留学モデ ル拠点地域を全国に構築する。

- ② 留学プラットフォーム:産業界、自治体、学校等によ る既存の留学支援の取り組みを可視化するほか、留 学奨学金制度や留学プログラム、留学啓発機会に全 国のより多くの主体(特に自治体、高校、大学)が 積極的に取り組む状態を目指す。
- ③ 価値イノベーション人材ネットワーク:トビタテコミュ ニティの更なる活性化と国内外の多様なステークホ ルダーとの協働の促進を図り、価値イノベーション人 材の輩出を目指す。

以下は、10月12日に募集要項を公開した「新・日本

代表プログラム」についての解説です。

「新・日本代表プログラム」は、平成26年度より実施 してきた「日本代表プログラム」の基本理念やコミュニ ティを受け継ぎつつ、より発展的に進化した事業として、 将来、「社会(地域)にイノベーションを起こすグロー バル探究リーダー」(高校生等)や「自ら社会にイノベ 一ションを起こしていくグローバルリーダー」(大学生 等)として日本の未来を創る人材を育成する新たなプ ログラムです。

「日本代表プログラム」の高校生コースは、平成27年 から令和2年にかけて3.389名の高校生を採用し、留学 した高校生は、幅広い国・地域への留学経験を日本社 会に還元しており、以下に示したような内容となってい ます。

地方から海外へ飛び出したロールモデル

unenbi

Toy

Ha

松尾 一輝

高校3期 プロフェッショナル

観光政策

【派遣時の所属】

大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

【留学先·期間】

カナダ ルーネンバーグ観光情報センター 54日間

【現在の所属】

東京大学 文科三類

留学のきっかけは祖父母の住む京都府伊根町の観光地を活性化したいという思い。伊根町同様に漁師町かつ世界文化遺産に指定されたルーネンバーグに留学。

観光情報センターでのインターンシップや現地で伊根町PR活動や現地の知事との対談等を通して観光産業発展の糸口を探る。帰国後は町おこしボランティア等で活動。

川野 七海

宮崎県地域人材コース 高校生等枠

観光政策

【派遣時の所属】

宮崎県立飯野高等学校

【留学先·期間】

台湾 静宜大学 31日間

【現在の所属】

九州大学 共創学部

高校時代の地域探検活動の授業を通して、 地元の京町温泉郷に興味を持ち、温泉観光なども盛んな台湾へ留学を決意。

留学中は大学に通い観光についての授業をうけたり、温泉を経営する現地の方へのインタビュー等を実施。

留学を通して地元の観光を発展させたいという 気持ちが強くなり、大学進学後も観光のあり方 の探究に向き合っている。

大塚 桃奈

高校1期アカデミック

ゼロ・ウェイスト

【派遣時の所属】

神奈川県立横浜国際高等学校

【留学先·期間】

イギリス ロンドン芸術大学 40日間

【現在の所属】

上勝町ゼロ・ウェイストセンター

当初はファッションを学びに留学を計画。 留学を通して、その裏側にある環境問題や「サステナビリティ」に興味を持つようになる。 現在は上際町を中心に「ゼロ・ウェイストル」向

現在は<u>上勝町を中心に「ゼロ・ウェイスト」と向</u> き合いながら活動中。

最近では、日本の里100選に選ばれた上勝町の棚田を活用するプロジェクトにも参画する等 環境を軸に町おこしも実践している。

髙木 瞳

高校 5 期 アカデミック(ロング)

和食文化発信

【派遣時の所属】

石川県立金沢泉丘高等学校

【留学先·期間】

アメリカ合衆国

PENTUCKET REGIONAL HIGH SCHOOL 298日間

【現在の所属】

青山学院大学 総合文化政策学部

将来、家業のミシュラン2ツ星日本料理店(金沢/銭屋)に貢献するために海外での『和食』 の認識やその違いを学ぶことを目的に留学。 現地の高校に通いながら、現地の日本食レストラン等を見学。

現在は、芸術や文化等を体系的に学びながら 将来の経営に生かすため各地で修行中。



●「新・日本代表プログラム」高校生等を対象としたコース(第8期)

高校生等を対象とするプログラムでは、我が国の高等 学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部、 高等専門学校(1~3年次)、専修学校高等課程に在籍

する日本人生徒等に対し、諸外国への留学に必要な費用の一部を奨学金・留学準備金として支給します。



募集コース及び募集人数

募集コースは、マイ探究コース、社会探究コース、スポーツ・芸術探究コースの3つのコースを設けています。 国境を越えた探究活動を通じて得たものを社会に還元 し、将来「社会にイノベーションを起こすグローバル探究リーダー」となる人材を輩出すると共に、「探究型留学」という新たな留学モデルの創出を行います。

■マイ探究コース

自らの興味・関心を基に考え出したテーマを海外で探究する留学コースです。好きなこと、得意なこと、挑戦してみたいことなど、自らの興味・関心や自分の中にある問題意識を起点として考えた自由なテーマや課題を設定し、多様な人々との異文化交流を通して、問題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。定員は360名です。

■社会探究コース

社会問題解決や社会貢献につながるテーマを海外で探究する留学コースです。Society 5.0 や SDGs を踏まえ、世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考え、「自分自身」の立場からできること・できそうなこと・すでに取り組んでいる活動を活かし、自由な発想と創造力をもって課題解決や活性化、社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。定員は200名です。

■スポーツ・芸術探究コース

所属する部活動または学校外活動を活かしスポーツ・芸術への貢献等につながるテーマを海外で探究する留学コースです。自身が所属する部活動や学校外の活動を活かし、海外の指導者の下で競技力や表現力のレベルアップを目指すとともに、スポーツ・芸術活動を通じた課題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。定員は140名です。

◆地域応援枠について

高校生等の留学においては、都道府県ごとの海外留学生数に地域差があり、身近に海外留学経験者がいないなどの課題があります。そのような状況を解決するため、海外留学を経験したロールモデルが全国各地に必ずいる状態を創出していくことを目的に、「地域応援枠」を新設します。20名以上応募のあった都道府県を対象に上位5名を優先して採用します。

◆ STEAM 枠について

マイ探究コース、社会探究コースの3割程度を STEAM枠として採用予定です。

STEAM (Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics) とは、科学・技術・工学・芸術(文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲でAを定義)・数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた言葉で、理系的な発想をベースにしつつ芸術的な創造性も高める教育手法です。

AI や IoT などの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、文系・理系といった枠にとらわれず、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が求められており、トビタテにおいても別枠で審査を行います。

申請について

在籍生徒が在籍高等学校等担当者を通じて独立行政 法人日本学生支援機構へオンラインにて申請します。在 籍校からの申請期間は、令和5年2月(予定)~令和5年 2月24日(金)17時です。

留学期間

14日以上~ 1年間となります。令和5年7月10日(月) ~令和6年3月31日(日)が留学開始時期です。

支援内容

支援する月額奨学金は、120,000円または160,000 円(留学先地域による)です。

月額奨学金に加えて留学準備金が支払われます。アジ ア地域は150.000円、その他の地域は250.000円です。

月額奨学金は家計基準を超える場合、60.000円とな ります。

なお、授業料は月額奨学金に含まれ、新型コロナウイ ルス感染症等の各種検査費用は留学準備金に含まれま す。

コンソーシアム(協議会)実施拠点形成支援事業

ここからは、令和5年度に派遣留学牛をコンソーシア ム(協議会)が募集する予定の拠点形成支援事業につ いて説明します。

拠点形成支援事業とは、高等学校段階からグローバ ル人材育成に取り組む留学モデル拠点地域を全国に作 る事業で令和5年度~令和6年度にかけて、全国から 12 地域を採択予定です。 令和5年度は4~6地域、 令和6年度は6~8地域の採択を予定しています。採 択初年度を含む3年間を支援し、生徒等の海外派遣は 2年を予定しています。

拠点地域では、各地域を支援する企業・経済団体、 地方公共団体(都道府県及び市町村)、高等学校等、 高等専門学校、大学等、その他高等学校段階からのグ ローバル人材の育成に関心を持つ団体等によりコンソー シアム(協議会)を構成して事業を実施し、将来的に 持続性のある事業の構築を目指します。

~トビタテ!留学JAPAN 新・日本代表プログラム【高校生等対象】 拠点形成支援事業~

留学モデル地域構築に向けた

- ★ 事業立ち上げを目的として、採択初 年度から運営経費を必要経費の2 分の1支援
- 募集から育成までプログラム運営をプ ロジェクトアドバイザーを中心とした -ム(トビタテ生含む)で伴走支援
- 50名を海外へ派遣するため、生徒等 の奨学金等及び運営経費を必要経 費の2分の1、**年間1,250万円を上** 限として支援

事務局ノウハウの横展開 グッドプラクティスを全国各地に

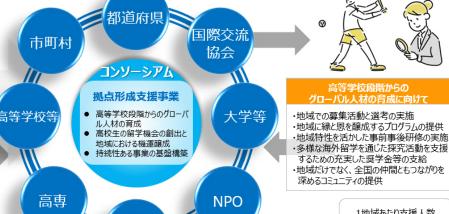


- 企業版ふるさと納税等を活用し、県外 の企業からの寄附を積極的に獲得する 場合はマッチングをサポート
- 持続性ある事業にするため、事前事後 研修を地域で運営できるように支援
- 子どもたちの挑戦を応援する、周囲の 大人たちの応援団を形成するために 教員向け研修や勉強会を地域で実施
- 地域内における留学機運醸成強化の ためトビタテOB/OGによる出張講座を 高校で実施
- 採択地域で組織する連絡協議会を作 り横連携のネットワークを形成し、好事 例の共有や取組みの活性化を図る

- <u>事業の実施主体</u>は、各地域を支援する企業・経済団体、地方公共団体(都道府県及 び市町村)、高等学校(国公私立の代表者がすべて参画)等、高等専門学校、大学 (大学コンソーシアムなどを想定)等、その他高等学校段階からのグローバル人材の育成 に関心を持つ団体等により構成される<u>コンソーシアム(協議会)</u>とする。 事業全体の統括・運営を担う事務局は都道府県に設置すること。 派遣留学生への奨学金等に充てる資金として、原則10社以上の企業等からの高附金に
- 度500万円以上確保すること。(地方公共団体からの支出は地域拠出全体の 2分の1までをト限とする)

令和5年度採択 4~6地域 令和6年度採択 6~8地域 12地域(採択予定)

採択初年度含む3年間支援 (生徒等の海外派遣2年)



企業. 経済団体

地域から世界

※概要等については今後、募集要項公開までに変更する可能性があります

1地域あたり支援人数 50名程度



コースはマイ探究コース、社会探究コース、スポーツ・芸術探究コースに加え、地域が独自に設定する<u>地域探究</u>コースを設けます。

事業立ち上げを目的として、採択初年度からトビタテ事務局が、運営経費について2分の1支援します。また、募集から派遣までのプログラム運営は、プロジェクトアドバイザーを中心としたチーム(トビタテ生含む)でトビタテ事務局が伴走支援します。

事業全体の統括・運営を担う事務局は都道府県に設置いただき、派遣留学生への奨学金に充てる資金として、原則10社以上の企業等からの寄附金により毎年度500万以上の確保をお願いしております。合わせて次の図をご確認ください。

拠点形成支援事業の地域の公募に関する情報等は、 改めて公開する予定です。

連絡先

募集要項、説明会等の詳細は、トビタテ公式ホームページ内、特設ページをご覧下さい。

※トビタテ! 留学 JAPAN 新・日本代表プログラム 高校生等対象 ホームページ

https://tobitate.mext.go.jp/
newprogram/hs



また、連絡先は次のとおりです。

トビタテ! 留学 JAPAN 新・日本代表プログラム事務局 独立行政法人日本学生支援機構 グローバル人材育成部 グローバル人材育成企画課

【電話】03-5253-4111(内線4940)

【対応時間】平日09:30~18:15

【問い合わせ専用フォーム】

https://reg31. smp.ne.jp/regist/ is?SMPFORM=memalgmhkd-2041370b151343c 497a32b3eb54cf539



トビタテ第2ステージにおいても、引き続きオールジャパンで若者の留学を応援し、日本のグローバル人材育成をさらに力強く推進してまいります。皆さんからの応募をお待ちしております。